

福島繁太郎 いづま 美術評論家。明治二十八年二月二十九日東京生れ、
 昭和二十五年十一月十日歿（一九五一年六月）。大正十年東京帝國大學法
 學部政治経済學科卒。イギリス大留學。十二年フランス大に移り、マティス、
 ピカソ等現代畫家より作品を蒐集。昭和二年パリで美術誌『Formes』を
 創刊し、九年歸國。戦後は銀座でフォーラム畫廊を經營。隨筆家福島慶
 子は妻。

著書『フランス畫家の印象』（昭和二十五年二月一日毎日新聞社）、
 『エコール・ド・パリ』全三冊（I・昭和二十五年七月十五日、II・
 九月二十日、III・二十六年七月七日新潮社）、『ピカソ』（昭和二十
 六年八月五日新潮社「新潮叢書」）、『印象派時代』（昭和二十七年
 九月二十日新潮社）、『ルオー』（編著、昭和二十二年四月十五日新
 潮社）等。

